

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(令和7年度

上半期(4月～9月)

年間(4月～3月)

の管理運営状況)

施設名	市民プール	指定管理者	シンコースポーツ・アズビル共同事業体
指定期間	令和7年4月1日から 令和9年3月31日まで	担当課	スポーツ推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類		年間計画（A）	実績（B） （モニタリング時）	対計画比率 （B/A×100）
業務の 遂行状況	開館日数（日）		334	268	80.2%
	延べ利用者数（人）		42,170	35,049	83.1%
	事業開催 回数	必須事業（回）	96	74	77.1%
		自主事業（回）	503	374	74.4%
収支状況	収入	指定管理料（円）	57,615,500	57,615,500	100.0%
		利用料金収入(売上)（円）	7,182,500	5,860,250	81.6%
		自主事業収入（円）	12,550,000	6,186,108	49.3%
		その他の収入（円）	0	0	-%
	収入計（円）…①		77,348,000	69,661,858	90.1%
	支出	人件費（円）	12,296,000	13,013,067	105.8%
		維持管理経費（円）	34,221,080	36,169,773	105.7%
		自主事業関係経費（円）	5,465,000	3,845,514	70.4%
		その他の支出（円）	21,730,920	18,946,669	87.2%
	支出計（円）…②		73,713,000	71,975,023	97.6%
	収支（①－②）（円）…③		3,635,000	△2,313,165	-%
	諸経費（本社運営費など）…④		-	-	-%
	総収支（③－④）（円）		3,635,000	△2,313,165	-%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 ○開館日数 年間計画に対し、66日減(80.2%)の268日の開館となりました。高圧電気設備修繕及びプール槽床塗装修繕のため、1月19日から年度内を臨時休館したことが要因となります。また、10月14日は予定では休館日でしたが、小学校プール授業の実施のため、9時から12時まで臨時開館し、教育活動への支援を行いました。 ○利用者数 年間計画42,170人に対し、実績35,049人(達成率83.1%)となりました。休館日が多かったため、年間計画には届きませんでしたが、1日平均では130.8人と年間計画126.3人を超える結果となりました。	【事業の実施状況について】 ○必須事業 エンジョイ水中運動(32回実施、参加者計763人)、ワンポイントアドバイス(35回実施、参加者計38人)、障がい者水泳教室(7回実施、参加者計38人)を実施しました。(合計74回実施、参加者計839人) ○自主事業 子ども対象の教室は、年間で204回開催し、参加者数は2,795人(1回当たり13.7人)、大人対象の教室は、年間で170回開催し、参加者数は893人(1回当たり5.3人)の参加となりました。 物販等の販売に関しては、年間目標295万円に対して、201.1万円(対計画比率68.2%)の売上げとなりました。	【収支状況について】 ○収入 利用料金収入は年間計画に対して81.6%になり、自主事業収入は年間計画に対して49.3%となりました。また、収入合計では年間計画に対して90.1%となりましたが、これは臨時休館による影響等が要因として挙げられます。 ○支出 人件費に関しては、近年の高騰により、年間計画に対して105.8%となりました。また、支出合計では遮熱対策など経費削減に努めた結果、年間計画に対して97.6%となりました。
--	--	---

所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 今年度は、高圧電気設備修繕及びプール槽床塗装修繕のため、1月19日から4月7日まで（令和7年度は72日間）臨時休館をした結果、開館日数が計画比80.2%（66日減）となりました。一方、利用者数は計画比83.1%の35,049人となり、年間目標には届きませんでしたが、12月までの利用者数が前年度同月比112.6%と好調であることから、臨時休館の影響を考慮すると適切な運営が図られていると考えます。	【事業の実施状況について】 事業については、必須事業の実施回数が対計画比77.1%、自主事業が対計画比74.4%となりました。必須事業の「エンジョイ水中運動」については、安全確保と衝突防止の観点からコース数を増設したことで、参加者が前年度比121.5%となるなど、指定管理者の創意工夫により利用者満足度の向上に努めていることが伺えます。1回当たりの参加人数は、子ども対象教室で13.7人、大人対象教室で5.3人と増えており、取組が実を結んでいます。今後も安全管理を徹底した上で、利用者ニーズに応じた事業運営を続けてください。	【収支状況について】 収支については、収入合計が計画比90.1%となり、利用料金収入が計画比81.6%、自主事業収入が計画比49.3%となりました。支出については、対計画比97.6%でほぼ計画内に収まっているものの、人件費が計画比105.8%、維持管理経費が計画比105.7%と予算超過となっています。施設修繕に伴う費用増加と利用者減による収入減から、最終的に2,313,165円の赤字となりました。次年度以降、利用者増加による収入確保と経費削減への一層の取組を期待します。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善

人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	6人	人員配置計画、実地、出勤簿	6人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年	研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者、地域住民の雇用促進に努めている	74.3%	人員配置計画	80% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守やハラスメント対策など、労働環境への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿、就業規則等	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
必須事業「エンジョイ水中運動」については、参加者の増加に伴い、利用者からの要望も踏まえ、安全確保及び衝突防止の観点から7月から9月にかけて使用コースを1コース増設し、3コースで実施しました。その結果、前年度比121.5%となり、1回当たり7.7人の増加となりました。大人対象の教室につきましては、従来のコース型から都度参加型への運営方法の変更を実施しました。併せて広報強化策としてSNSやホームページでの周知を含む友達紹介キャンペーン及び新規登録キャンペーンを実施した結果、1回当たりの参加人数は0.7人の増加、子ども対象の教室では、1回当たり0.4人の増加となりました。これらの取組により、必須事業・自主事業ともに1回当たりの参加人数の増加につながりました。
所管課による所見（指摘事項など）
施設修繕により、令和7年1月19日から年度内まで臨時休館があったことで、開館日数及び利用者数が減少しましたが、12月までの利用者数が前年度同月比112.6%と好調に推移しており、広報活動の効果が継続していることが伺えます。必須事業「エンジョイ水中運動」については、安全確保のためコース数を増設し、参加者が前年度比121.5%に達するなど、利用者ニーズに応じた適切な対応をしています。 一方、収支については、自主事業収入が計画比49.3%と目標に届かず、また人件費や維持管理経費が計画を超過するなど、経営効率の改善が課題となっています。今後は施設利用者の増加に向けた広報活動の継続と経費削減に一層取り組み、収支の改善を図ってください。引き続き、安全管理を最優先とした質の高い施設運営を期待します。